



共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由		
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町				
5	保育所広域入所に関する連携	隣接する区域において、児童の住居地以外の保育所の広域入所を推進する。	—	関係市町村間において、保育所の広域入所を実施した。	今後も継続して、保育所の広域入所を実施する。	○											○	現状の体制を維持する	保育所の広域入所を継続的に実施し、地域における保育サービスを安定的に供給することが重要なため。
6	介護認定審査会事業	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けられるよう要介護等の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。	介護認定審査会開催回数 【25年度】230回 【26年度】272回 【27年度】250回 【28年度】289回(見込み)	関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、介護認定審査会を開催した。	今後も継続して、上北地方教育・福祉事務組合において介護認定審査会を開催する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持する	現状の審査会業務の体制を維持し、介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けられるよう、審査会業務を継続的に行うことが重要なため。
7	障害者介護給付等審査会事業	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けられるよう、自立した生活ができるよう障害支援区分の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。	障害者介護給付等審査会開催回数 【25年度】24回 【26年度】30回 【27年度】27回 【28年度】26回(見込み)	関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、障害程度区分認定審査会を開催した。	今後も継続して、上北地方教育・福祉事務組合において認定審査会を開催する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持する	現状の審査会業務の体制を維持し、障害者が必要な生涯福祉サービスを受けられるよう、審査会業務を継続的に行うことが重要なため。
8	図書館相互利用促進事業	圏域住民に対し、圏域内での図書館において、それぞれの市町村の住民と同一の基準で所蔵資料の館外貸出を行うこと等、圏域の住民が利用しやすい図書館閲覧環境を構築する。 圏域内の各図書館ホームページを相互にリンクし、関係市町村の図書館ホームページにリンクを貼る等、圏域の図書館情報を住民に提供する。	【25年度】 ・H25.6 第1回WG開催 ・H25.12 第2回WG開催 【26年度】 ・H26.5 第1回WG開催 【27年度】 ・H27.6 上北地方図書館連絡協議会総会 【28年度】 ・H28.5 上北地方図書館連絡協議会総会	【25年度】 圏域図書館の相互利用の実施に向けて、各市町村の規約を確認し、その改正について検討した。 【26年度】 ・平成26年6月1日から図書館相互利用促進事業を開始。9市町村全ての図書館を「青森県内図書館共通利用券」なしで利用することができる。 ・共通ポスターを作成し、事業内容の周知した 【平成27年】 ・平成27年5月現状把握の調査実施 ・引き続き事業内容の周知を図るとともに、利用促進に向け協議した 【平成28年】 ・引き続き事業内容の周知を図るとともに、利用促進に向け協議した	今後の会議において、相互利用の現状等を確認や図書の返却方法についての検討を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	相互利用件数(件) 【現状値】 307件 (H27年度実績) 【目標値】 410件		
9	図書館蔵書充実事業	幅広い蔵書の充実に努める。	—	幅広い蔵書の充実に努めた。	今後も幅広い蔵書の充実に努める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	図書館利用者数(人) 【現状値】 155,357人 (H27年度実績) 【目標値】 161,100人	

共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由	
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町			
10	生涯学習情報提供事業	各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知する体制を段階的に構築する。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.12 第1回WG開催</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.12 第1回WG開催</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.2 第1回WG開催</li> </ul>	生涯学習情報の情報共有について、圏域市町村間で協議した。	圏域全体で生涯学習情報を情報共有をするための、データ収集方法やホームページ掲載様式等の情報共有システムの構築に向けた研究・検討を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	情報共有システムの構築をする。	
11	英語教育推進事業	小・中学校における英語教育の充実を図るため、英語指導法等に関する研究会や生徒の英語スピーチコンテストを開催する。 小中の接続を効果的に行うために英語教育カリキュラム等に関する調査・研究を行う。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.8 東部地区中学校英語スピーチコンテスト開催、十和田市中学校英語弁論大会開催、北地区中学校英語弁論大会開催、中部上北中学校英語スピーチコンテスト開催、小中学校英語研修講座講演会開催</li> <li>・H25.9 上北地方中学校英語弁論大会開催</li> <li>・H25.11 英語活動科授業研究会開催</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.8 東部地区中学校英語スピーチコンテスト開催、十和田市中学校英語弁論大会開催、北地区中学校英語弁論大会開催、中部上北中学校英語スピーチコンテスト開催、小中学校英語研修講座講演会開催</li> <li>・H26.9 上北地方中学校英語弁論大会開催</li> <li>・H26.11 英語活動科授業研究会開催</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.8 東部地区中学校英語スピーチコンテスト開催、十和田市中学校英語弁論大会開催、北地区中学校英語弁論大会開催、中部上北中学校英語スピーチコンテスト開催、小中学校英語研修講座講演会開催</li> <li>・H27.9 上北地方中学校英語弁論大会開催</li> <li>・H27.11 英語活動科授業研究会開催</li> </ul> <p>【28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.8 東部地区中学校英語スピーチコンテスト開催、十和田市中学校英語弁論大会開催、北地区中学校英語弁論大会開催、中部上北中学校英語スピーチコンテスト開催、小学校英語研修講座講演会開催</li> <li>・H28.9 上北地方中学校英語弁論大会</li> <li>・H28.11 英語活動科授業研究会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語弁論大会の各地区予選会、上北地方大会を開催</li> <li>・上北地方小中学校教員対象に、指導方法や指導技術を中心とした研修会の開催</li> <li>・小学校の外国語活動の一層の充実と中学校の英語科へのスムーズな接続を目指した研究会の開催</li> </ul>	今年度の取組を継続実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>「小中学校英語研修講座講演会」及び「英語活動科授業研究会」の参加者数</p> <p>【現状値】 小中学校英語研修講座講演会参加者 21名 英語活動科授業研究会 参加者 30名 (平成28年度実績)</p> <p>【目標値】 小中学校英語研修講座講演会 参加者 30名 英語活動科授業研究会 参加者 40名</p>		
12	教育事務の委託	県境を越えて隣接する区域における関係町の教育事務について、中心市が委託を受けて処理する。	—	十和田湖畔地区における教育事務を十和田市が小坂町から受託し、実施している。	今後も十和田湖畔地区における教育事務を連携して行う。	○											現状の体制を維持する	地域における教育サービスを安定的に供給することが重要である。

共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由			
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町					
13	広域観光会議の開催	民間企業や関係団体も交えた圏域全体としての広域観光会議(仮称)を開催し、圏域の観光施策の検証と圏域全体としての広域的な観光推進事業の在り方を検討する。	【25年度】 ・H25.11 第1回WG開催 ・H26.2 第2回WG開催 ・H26.3 第3回WG開催	・広域観光組織である十和田エイト・ライン観光協議会を母体として組織づくりを進め、H27.8に上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会を設立。 ・27年度は、中心市の事業費と県の補助金を活用し、定住自立圏観光ガイドブック「るるぶ特別編集上十三」を発行し、圏域内の魅力を県内外にPRした。	・広域的な観光推進の実施にあたり、28年度中に圏域における観光ニーズ等のマーケティングデータを収集・分析し、明確なコンセプトに基づいた戦略の策定を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	圏域市町村の観光入込客数(人)  【現状値】 7,315,412人 (H26年度統計値)  【目標値】 7,700,000人	
14	広域観光振興推進事業	広域観光会議(仮称)での議論を踏まえ、既存の広域観光マップ事業の深化を図るとともに圏域内の主な観光起点からの広域的な観光ルートを開発し、圏域全体のイベント情報などの情報発信やプロモーションを行い、新規誘客を図る。既存の観光地のみでなく、紹介されていない史跡や景勝地の紹介等地域観光資源の発掘に努める。	【26年度】 ・H26.4 第1回WG開催 【27年度】 ・H27.6 第1回WG開催 ・H27.7 第2回WG開催 ・H27.8 設立総会開催 ・H27.12 担当課長兼担当者会議開催 【28年度】 ・H28.5 総会 ・H28.7 第1回担当課長会議 ・H28.11 第2回担当課長会議 ・H29.2 第1回担当者会議(予定)	・H27.10に十和田市で開催したB-1グランプリの併催イベント内で、圏域市町村の観光PRや物産品の販売をした。 ・B-1グランプリ公式ホームページ内で、圏域市町村の観光情報を発信した。 ・28年度は、十和田市主催の「国立公園指定80周年記念 十和田湖味紀行」において、連携市町村内から出店事業者を募り、参加した。 ・県内で定住自立圏を形成し、広域で観光振興を行っている弘前市を視察し、29年度以降の事業を検討した。	・29年度より、事業費をもって事業展開を行う。まずは「地域内の住民に地域の魅力知ってもらうこと」を目的とし、地域の情報を盛り込んだガイドブックを制作し、地域内の周遊促進及び消費額拡大を図る。また、先進地視察を実施し、広域連携の利点や必要性などを連携市町村間で共有する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
15	十和田湖観光誘客事業	十和田湖畔地区で、自然にやさしい十和田湖のブランドイメージが全国に定着するよう、年間を通してエコロジー事業等を展開し、観光振興を図る。当該地域が青森県・秋田県の県境に位置することから、小坂町と連携し観光誘客策の検討を行うとともに、イベントの開催や情報発信等を実施する。	—	休屋湖畔エリアで砂地に混入したゴミの除去等、砂浜再生事業に取り組むとともに、奥入瀬溪流エコロードフェスタと連動したエコプログラムを実施した。	エコな取り組みは重要なテーマであることから、継続する方針。	○												十和田湖への観光入込客数(人)  【現状値】 1,628,809人 (H26年度統計値)  【目標値】 1,700,000人		
16	特産品の販路拡大	圏域の特産物(農産物・畜産物・水産物等)に関する情報を相互に提供し合い、これらの特産物の販路拡大を図っていく。 また、圏域内の特産物等による地域ブランド化を推進する。	【25年度】H25.11 特産市の開催 27,000人 【26年度】H26.11 特産市の開催 25,500人 【27年度】H27.10/31,11/1 特産市の開催 25,000人 【28年度】H28.10 特産市の開催 26,000人 【28年度】十和田湖味紀行の開催 1,200人	六戸町メイプルタウンフェスタにおいて、「上十三・十和田湖広域定住自立圏市町村特産市」を開催した。十和田湖国立公園認定80周年記念事業として、十和田湖畔休屋にて定住自立圏によるグルメイベントを開催した。	中心市及び関係町村と情報共有を図りながら、今後の取組内容について検討していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	販路拡大イベントの開催数(回)及び来場者数(人)  【現状値】 イベント 年1回 来場者数 26,000人  【目標値】 イベント 年1回 来場者数 26,000人	特産物の販路拡大に向け、継続して取り組むことが重要なため。	



共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由			
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町					
20	簡易水道の共同利用	効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、簡易水道の共同利用を行う。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.7月,10月 WG開催</li> <li>・H25.10月 秋田県協議</li> <li>・H25.12月 青森県協議</li> <li>・H26.3月 厚労省協議</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.4月,5月,7月,8月, H27.2月WG開催</li> <li>・H27.3.27協定締結</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.10月WG開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.3.27に締結した「水道施設の共同利用」に関する協定に基づき、十和田市十和田湖畔地区と小坂町休平地区の水道管を連絡管でつなぐ工事を実施(H27.11～H28.1)</li> <li>・H28.2に本格的な送水開始に向けて、事前に管に送水し、調整を行った。</li> <li>・H28.2.28に十和田市及び小坂町において「通水式」を行った。</li> <li>・H28.3.11に送水を開始</li> <li>・H28.3.11に送水を開始し、現在問題もなく共同利用中。</li> </ul>	今後も引き続き水道施設の共同利用を行い、効果的かつ効率的な水道事業経営を図る。	○										○	現状の体制を維持する	平成27年度から、既に共同利用を開始しているため。		
21	消費生活相談事業	複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、圏域における消費生活相談の広域的な取組を進める。	<p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.5 平成26年度第1回消費生活センター広域化検討会議</li> <li>・H26.5 平成26年度第2回消費生活センター広域化検討会議</li> <li>・H26.8 第1回上十三地区(十和田ブロック)消費相談窓口広域連携化会議</li> <li>・H26.9 第1回上十三地区(三沢ブロック)消費相談窓口広域連携化会議</li> <li>・H27.3 上十三地区(十和田ブロック)消費生活相談業務に係る協定書調印式</li> <li>・H27.3 上十三地区(三沢ブロック)消費生活相談業務に係る協定書調印式</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.7 平成27年度上十三地区(三沢ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議</li> <li>・H27.9 平成27年度上十三地区(十和田ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議</li> </ul> <p>【28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.5 平成28年度第1回上十三地区(十和田ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議</li> <li>・H28.9 平成28年度第2回上十三地区(十和田ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議</li> <li>・H28.4 平成28年度第1回上十三地区(三沢ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議</li> </ul>	<p>中心市が設置する消費生活センター(十和田市消費生活センター、三沢市消費生活センター)に関係市町村の消費生活相談事務を集約した。</p> <p>【相談件数】(平成27年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○十和田市消費生活センター(十和田市・六戸町・七戸町) 309件(うち十和田市262件、六戸町27件、七戸町20件)</li> <li>○三沢市消費生活センター(三沢市・野辺地町・横浜町・東北町・六ヶ所村) 164件(うち三沢市118件、野辺地町12件、横浜町8件、東北町19件、六ヶ所村7件)</li> </ul> <p>(平成28年度4月～10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○十和田市消費生活センター(十和田市・六戸町・七戸町) 218件(うち十和田市188件、六戸町12件、七戸町18件)</li> <li>○三沢市消費生活センター(三沢市・野辺地町・横浜町・東北町・六ヶ所村) 116件(うち三沢市85件、野辺地町7件、横浜町0件、東北町17件、六ヶ所村7件)</li> </ul>	今後も継続して消費生活センターの広域利用を進め、圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	相談件数(件)	<p>【現状値】</p> <p>473件 (H27年度実績)</p> <p>【目標値】</p> <p>650件</p>	
22	圏域公共交通会議(仮称)の開催	事業者及び関係市町村が合同で圏域内の公共交通網について情報共有や議論を行う場としての「圏域公共交通会議」(仮称)を開催し、公共交通ネットワークの維持に努める。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.11 第2回定住担当課長会議</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.2 第1回公共交通ネットワーク会議</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.2 第1回公共交通ネットワーク会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住自立圏担当課長会議において、会議の進め方を検討した。</li> <li>・圏域公共交通担当者で構成する公共交通ネットワーク会議を開催し、公共交通に係る情報交換を行った。</li> </ul>	年1回程度会議を開催し、各市町村の状況を情報共有していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内バス路線について、持続可能な交通体系を求められており、今後も継続的な情報共有が必要なため。</li> <li>・圏域内を結ぶバス路線数等について、情報共有を図り、国が創設した新しい補助制度活用のために継続的な調査・研究が必要なため。</li> </ul>	

共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由			
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町					
23	生活交通路線維持事業	圏域公共交通会議の議論を踏まえ、圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線を維持するため、運行事業者等に対して支援を行う。また、コミュニティバス運行事業者に対して補助を行うとともに、コミュニティバスの利用環境整備及び利用促進に取り組む。	—	圏域内を結ぶ路線バス等を維持するため、運行事業者等に対して支援を行った。	運行事業者等に対して継続して支援を行うとともに、国土交通省が検討している新しい補助制度等の活用を検討していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持する	圏域内の公共交通体系維持のためには、事業者への継続した支援が重要なため。
24	青い森鉄道利用促進等事業	青森県、関係市町村及び事業者等の関係機関と連携して、青い森鉄道の各種利用促進活動に取り組む。また、青い森鉄道の利便性向上及び利用環境改善のため、駅関連施設及び駅周辺施設等の整備を図る。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>・H25.4、H26.2 担当課長会議</li> <li>・H25.5 総会</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>・H25.5、H26.2 庁内検討チーム</li> <li>・H25.7、H26.3 関係機関連絡会議</li> <li>・H25.10、H26.3 構想検討懇談会</li> <li>・H25.12 住民説明会、パブコメ実施</li> <li>・H26.3 基本構想策定</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>・H26.5、H27.2 担当課長会議</li> <li>・H26.5 総会</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>・H27.3 基本計画策定作業</li> </ul> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>・H27.4 担当課長会議</li> <li>・H27.5 総会</li> <li>・H28.2 担当課長会議</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>・H27.7 基本計画策定</li> </ul> <p>【28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>・H28.5 担当課長会議</li> <li>・H28.5 総会</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>・H28.7 実施設計</li> <li>・用地買収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>県を主体に沿線自治体、事業者が連携し、青い森鉄道及び沿線地域の活性化を図る各種事業を展開。(鉄道の日行事、フォトコンテスト、グッズ制作、環境整備等)</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>関係機関や事業者との協議・調整を図り、実施設計が完了した。用地買収に向けた手続きに取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道線活用推進協議会</li> <li>28年度以降の展開については、協議会設立から5年以上が経過したことから、負担金を若干縮減した上で、これまでと同様のスキームで進めて行く予定。</li> <li>○三沢駅周辺整備関係</li> <li>平成28年度に用地買収を行い、平成29年度より工事に着手する予定としている。</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青い森鉄道下田駅～野辺地駅乗車人員</li> <li>【現状値】896,417人(H27年度実績値)</li> <li>【目標値】896,000人</li> </ul>			
25	道路等のインフラ整備に関する要望	圏域内の市町村間を繋ぐ幹線道路等のインフラ整備に関する要望活動を圏域として一体的に行う。	<p>【25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25.12 道路整備要望活動の実施</li> </ul> <p>【26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.12 道路整備要望活動の実施</li> </ul> <p>【27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.12 道路整備要望活動の実施</li> </ul> <p>【28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28.11 道路整備要望活動の実施</li> </ul>	圏域市町村長等が、道路整備予算の確保、上北自動車道の整備促進、下北半島縦貫道路の整備促進等を要望した。	圏域における新規要望を検討しつつ、要望活動を実施していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>要望活動実施回数(回)</li> <li>【現状値】年1回</li> <li>【目標値】年1回以上</li> </ul>	国、県へ継続的に要望活動を行っていくことが重要なため。		

共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由		
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町				
26	三沢空港振興会事業	三沢空港の利便性向上のため、発着路線の拡充など関係機関への要望活動やプロモーション活動等を実施する。 需要を喚起するための利用促進活動及びPR活動等を積極的に実施する。	【25年度】 ・H25.4 第1回幹事会 ・H25.5 定例総会 ・H26.3 第2回幹事会 【26年度】 ・H26.5 定例総会 【27年度】 ・H27.4 第1回幹事会 ・H27.5 定例総会 【28年度】 ・H28.4 第1回幹事会 ・H28.5 定例総会	・利用促進事業として、旅行商品を企画・造成する者へ対する助成を実施。 ・PR事業として、就航先都市や広告媒体を通じた各種PR活動を実施。 ・三沢空港発着便に接続する二次交通手段を維持するため、運行事業者に対して支援を行った。	29年4月に幹事会、5月に定例総会を開催予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	空港乗降客数(人) 【現状値】 255,134人 (H27年度実績値) 【目標値】 279,300人	
27	公共施設の相互利用促進事業	関係市町村の文化・スポーツ施設等のうち、圏域住民が利用する施設と位置づける施設について検討・調整を行い、まずは、圏域間で施設の利用情報について共有すること等から取組みつつ、2市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域内施設の相互利用促進を図る。	【25年度】 ・H25.12 第1回WG開催 【26年度】 ・H26.12 第1回WG開催 【27年度】 ・H28.2 第1回WG開催	公共施設の段階的な相互利用の促進を想定していることから、圏域公共施設の基本データを収集するため、圏域公共施設相互利用可能性調査を実施し、取りまとめの後、現時点で相互利用可能な施設の一覧を作成し、ホームページ等で公開していく。	相互利用が可能な施設を、ホームページ等で公開していくために、データの収集方法やホームページ掲載様式等の情報共有システムの構築に向けた研究・検討を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	情報共有システムの構築をする		
28	あおもりアートぐれっとパス事業	十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館において、3館共通パスポートの販売を行う。また、3館が連携して広報等を行う。	【25年度】 ・H25.6 第1回実行委員会 ・H25.7 記者会見 【26年度】 ・H26.6 第1回実行委員会 ・H26.7 記者会見 【27年度】 ・H27.8 第1回実行委員会 ・H27.9 記者会見 【28年度】 ・H28.9 第1回実行委員会	【25年度】 ・7～11月 チケット販売実施 ・9月1日、10月19日、11月3日バスツアー実施 【26年度】 ・7～11月 チケット販売実施 ・9月1日、10月19日、11月3日バスツアー実施 【27年度】 ・9～28年1月 チケット販売実施 ・10月10日バスツアー実施 ・PR事業として、3館各自のホームページやツイッター、フェイスブック等で宣伝するほか、ポスター・チラシを制作し、県内外及び首都圏へ広く配布して、利用促進に努めた。 【28年度】 ・10～29年3月チケット販売実施 ・11月25日バスツアー実施 ・PR事業として、3館各自のホームページやツイッター、フェイスブック等で宣伝するほか、ポスター・チラシを制作し、県内外及び首都圏へ広く配布して、利用促進に努める。	今後も十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館等において、事業内容の検討を行い、各館で連携し、情報発信及び集客を図るため、事業を実施する。	○	○		○								実施期間中における来場者数(人) 【現状値】 45,036人 (H27年度実績値) 【目標値】 47,300人		

共生ビジョン掲載事業 進捗状況及び成果指標一覧表

資料2

No	事業名	事業概要	会議等の開催状況	取組及び進捗状況の概要	今後の方針・会議の開催予定	連携市町村										成果指標(案)	設定理由		
						十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	おいらせ町	小坂町				
29	イベント交流事業	圏域におけるイベント情報や地域資源を共有し、祭りや各種イベント等において周知宣伝活動を行うとともに、相互交流に取組む。 圏域全体の活性化・交流促進を目的としたイベントがある場合には、支援を行う。	【25年度】 ・H25.10 広報担当者会議開催	・圏域市町村におけるイベント情報の共有を図るため、平成25年10月に広報担当者会議を実施した。 ・広報平成25年12月号から「ぐるっとNAVI～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～」を圏域全市町村にて掲載している。 ・掲載記事の取りまとめは中心市が交代で行うこととし、平成28年度は三沢市が担当している。	・今後も「ぐるっとNAVI～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～」にて継続的に圏域イベント情報を発信していく。 ・平成28年度は三沢市が掲載記事の取りまとめを行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持	広報(ぐるっとNAVI)での圏域のイベントの発信体制を維持し、相互交流を促進していくことが重要なため。
30	職員研修交流事業	各市町村において実施している職員研修に、他の関係市町村の職員を受け入れる。また、必要に応じ、合同で行うことが効率的、効果的とされたテーマについては、合同での研修を企画立案し、実施する。	【25年度】 ・H25.7 第1回WG開催 【26年度】 ・H26.5 第1回WG開催 ・H27.2 第2回WG開催 【27年度】 ・H27.5 第1回WG開催 【28年度】 ・H28.5 第1回WG開催	WGにおいて、職員研修交流事業の実施について検討。下記の職員交流研修会開催した。 【25年度】 計9回開催 【26年度】 計9回開催 【27年度】 計13回開催 【28年度】 5月 人の心をつかむ接遇マナー研修(おいらせ町) 6月 地域力創造研修(十和田市) 7月 三沢市スポーツフォーラム(三沢市) マナーアップ講座(三沢市) 8月 接遇研修(六ヶ所村) 9月 財務事務研修(六ヶ所村) 困難クレーム対応研修(十和田市) 地方自治制度研修(六ヶ所村) 10月 女性職員リーダー研修(十和田市) 11月 タイムマネジメント研修(十和田市) 12月 リスクマネジメント研修(十和田市) 1月 ハラスメント研修(十和田市)	今後も、各市町村主催の他市町村職員が参加可能な研修をそれぞれメール等で案内していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	広域参加人数(人) 【現状値】 70人 (平成25～27年度の実績の平均値) 【目標値】 70人			
31	職員人事交流事業	関係市町村において協議の上、必要に応じて職員の相互交流(派遣)を行う。		WGにおいて、人事交流について検討した。	人事交流の希望があった際に、各市町村同士で個別に相談していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現状の体制を維持する	各市町村が必要に応じて、個別に協議することとしているため。		